

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2024年7月

こんにちは。鳥取県東南アジアビューローの辻です。

自動車産業の集積地であるタイは、製造業は国のGDPの約30%を占めており、観光業と並んで国の重要な主要産業となっています。製造業関連の展示会も毎年様々な展示会が開催されています。今回はその製造業関連の展示会「INTERMACH / SUBCON THAILAND 2024」についてのレポートと、出展企業のインタビューをお伝えします。

## □■展示会レポート■□

### ◇◆INTERMACH / SUBCON THAILAND 2024◆◇

タイにおける製造業関連3大展示会のひとつ INTERMACH / SUBCON THAILAND がアセアン最大級展示場の BITEC（バンコク国際展示場）で5月15から18日まで開催されました。（他の2つの展示会は6月19-22日に開催予定の MANUFACTURING EXPO および11月20-23日開催予定の METALEX）

この展示会は2つの別々の展示会が開催場所と時期を同じくして開かれるものです。それぞれの展示会の概要は以下の通りです。

#### INTERMACH

部品加工に関係する工作機械（マシニングセンター、シートメタル加工、溶接、レーザー加工、プレス等）や、それらに必要な測定器類や付帯設備、またFA関連（ロボットなど）企業の出展がメインとなります。

#### SUBCON THAILAND

その名の通り、製造業における下請け関連、自動車産業で例えるとティア3以下の部品量産関係と、その関連製造及びサポート企業等の展示会です。

今年は INTERMACH には 204、SUBCON THAILAND には 208 の企業及び関連団体が出展し、来場者数は 44,773 人と、昨年の来場者数 42,011 人に対して微増という結果になりました。

#### 【タイ製造業におけるトレンド】

現在のタイの製造業界のトレンドとして注目されているのが「BEV（バッテリー式電気自動車）」です。本展示会においても BEV の促進を狙う主催者の意図が垣間見えるところが多くありました。会場のエントランスロビーには、中国メーカーBYDの電気自動車、TOYOTAのBEVピックアップトラック、そして将来の期待の星として TOYOTA MIRAI が展示されていました。



# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2024年7月



その他にも、THAI SUBCON の SHOWCASE には、シンガポール企業、KRONOS MANUFACTURING がタイで製造している電動バイク、車いす、小型ショベルカーが展示されていました。

Thai Subcontracting Promotion Association (タイ下請振興協会、以下 THAI SUBCON) の役員の方に話を聞くと、今年後半に BYD がタイで製造を開始し、それ以降も複数の BEV メーカーがタイで順次製造を始めるが、殆どの部品が

中国企業製となるため、タイ企業がそこに入り込むのは難しいのではないかと、とのコメントでした。

3月末に開催されたバンコク国際モーターショー2024（即時予約販売会）でも、政府補助金の助けもあり、成約台数の3台に1台（33%）が BEV だったことから、タイにおける BEV の盛り上がりが見て取れます。

その一方で、現時点では BEV はほぼ中国からの輸入となっているため、今後の市場のトレンドが、タイの既存の製造企業にどのような影響をおよぼすのか、まだ見えていない現実があるようです。

## 【展示会に参加をしてみたの考察】

前述の通り、INTERMACH では工作機械及びその周辺機器関連の展示が主になっています。6月19-22日に行われる MANUFACTURING EXPO や11月の METALEX と同系列企業の展示会となります。但し、最新技術の展示ではないということもあり、中国製の機械が目立ちました。



また SUBCON THAILAND との関係もあり、やはり部品製造（主に量産）に関する工作機械、測定器、SI（システムインテグレーション）関連の出展が多い印象を受けました。

SUBCON THAILAND は、THAI SUBCON が主催しており、部品加工（主に量産）企業や製造付帯設備製造販売関係の中小企業がメインにブースを構えます。ここで感じたことは、日系企業が多く出展していたということです。208ブース数中52ブースが日系企業のブースでした。このエリアの特徴として、出展企業間での商談も盛んで、出展企業と訪問者との面談のみならず、出展社同士での情報交換の機会としても機能していました。それほどに参加企業の出展製品のバリエーションが豊富な印象を受けました。



## 【SUBCON THAILAND 出展企業インタビュー】

今回の SUBCON THAILAND に出展していたタイ企業に対し、現在の業績や抱えるニーズについてインタビューを行いました。

### 【SP Group Company / Chanchai 社長】

「従来は自動車部品、家電部品（洗濯機、冷蔵庫関係）の製造を行っていましたが、この分野での将来的な成長は期待できないので、新しい事業の掘り起こしが重要だと考えています。最近では、これまでに培ってきた自社の強みを生かし、ホームケア事業として介護用ベッドの開発、製造販売を始めています。また事業継承ということでは、自動車関連事業は息子のマークに、ホームケア事業は娘のミンに責任を持たせています。」

このように、BCP（事業継続計画）と応用展開新規事業を急いでいらっしゃる様子でした。介護用ベッドや介護機器でのグローバル展開に関して協業できる企業があれば、ぜひ話をしたいとのことです。



### 【SK POLYMER CO., LTD. / SUPOTE 社長】

「自動車、家電、エアコン、日用品、医療など、全方位事業のゴム関係の製造をしています。目下の事業は好調で、特に医療関係製品の製造が好調です。全ビジネスカテゴリーに対応して製造しているため、ある分野の業績が悪くても他の分野でバランスを取ることができるので、これがわが社の強みです。」

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2024年7月

SUPOTE 社長によると、ナチュラルゴムを原料にした高耐熱やその他に付加価値のある技術をもった企業の紹介を希望していました。



## 【THAI ROKUHA CO., LTD. WARAKORN 社長】

「研磨機のオーバーホール（日本企業と協業）、付帯設備商社、SI 設計製作を展開しています。目下のところ売上は順調ですが、今後はSIを強化していきたいので、良い設計会社があったらぜひ話がしたいです。」

※SI（システムインテグレーション）＝システムの企画・導入から運用まで一貫して担当するサービスのこと



それ以外にもタイ企業の社長何名かとお話しましたが、共通して話されていることが、「現状維持では将来がないので新規事業を進めなければならない。これまでの実績や培ってきた技術をベースに応用展開、横展開が必要」ということでした。その上で「やはり技術は日本」という認識をされていて、昨今中国企業の進出が目立つタイの中でも、「日本企業との協業を模索していきたい」というタイ企業の意向を強く感じました。

## 【最後に】

電気自動車など中国メーカーのタイ国内での台頭が目立つ近年ですが、中国やアジア諸国とタイ企業との取引が増える中で、やはり日本の技術は信頼がおける、ということをも

# タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告

2024年7月

って実感された方も増えてきているように感じます。多くの企業が新規事業の展開を検討している今だからこそ、生まれる新たなビジネスチャンスがあると思われま

鳥取県東南アジアビューロー Tottori-Southeast Asia Trade and Tourism Bureau

担当：辻 三朗 Saburo Tsuji

Address: 1 VASU 1 Building, 12 FL., Room 1202/C, Soi Sukhumvit 25, Sukhumvit Rd.,  
Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Tel : +66-(0)-2-260-1057

Mobile : +66-(0)-86-358-7298

Mail : [tottori@aapth.com](mailto:tottori@aapth.com)

【鳥取県東南アジアビューローの運営法人（鳥取県より業務委託）】

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インド・メキシコにて主に日系中堅・中小企業様の海外進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

【免責事項】

■情報の掲載内容には万全を期しておりますが、その正確性、完全性、有用性、適用性についていかなる保証も行いません。また、その利用により生じた被害や損害に関して一切の責任を負いません。

## タイ王国及び他の東南アジア諸国の経済・産業動向、社会動向報告書

2024年7月

## ワンページタイ経済

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比ベ (%)	1.8	2.7	2.0	1.5 (3月)
人口*	千人	68,161	69,922	70,077	70,164 (4月)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,311	40,115 (5月)
失業率**	%	1.94	1.32	1.03	1.07 (5月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	331	353	353	363
チョンブリー		336	354	354	361
アユタヤー		325	343	343	350
ラヨーン		335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	バーツ	13,506	14,305	14,416	14,407 (5月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	5.45	0.06 (1月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.50 (6月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.43 (5月)
ローン金利(MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	7.17 (5月)
SET 指数*	1975年：100	1,657.62	1,668.66	1,415.85	1,300.96 (6月)
バーツ/100円**	バーツ	29.15	26.78	24.82	23.81 (6月)
バーツ/米ドル**	バーツ	31.98	35.06	34.80	36.18 (6月)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	152.17 (6月)
車販売台数（1月からの累計）	台数	736,716	856,057	702,921	261,209 (5月)
B0I 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	785 (3月)
B0I 認可プロジェクト金額	10億バーツ	511.9	618.62	750.12	254.92 (3月)

\*期末、\*\*平均